

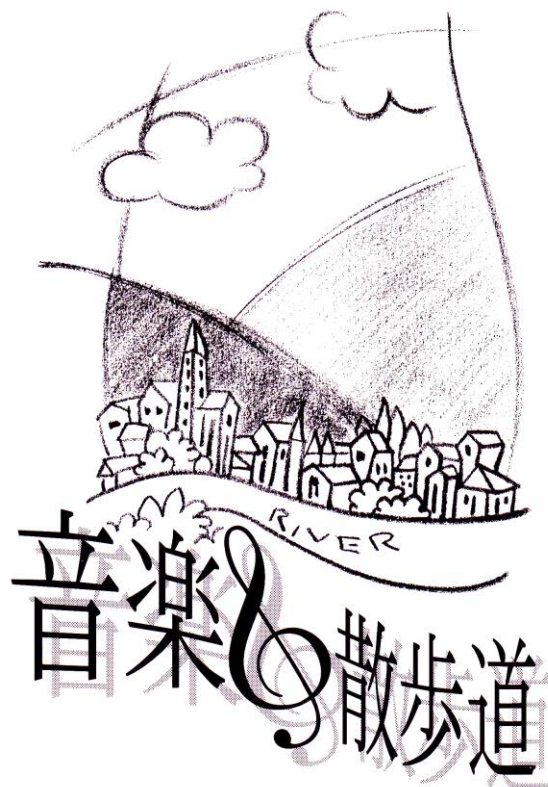
[第38回奈良県芸術祭参加]

華麗なる音楽模様

オルガンと弦楽の調べ

2007年9月14日(金) 7:00pm

秋篠音楽堂



プログラム

Georg Friedrich Händel (1685-1759)

Orgelkonzert in F op.4,Nr.4 HWV292

Allegro

Andante

Adagio

Allegro

Sonate für Violin und Basso Continuo in A
Op.1,Nr.3 HWV361

Andante

Allegro

Adagio

Allegro

Triosonate in A op.5 Nr.1 HWV396

Andante

Allegro

Larghetto

Allegro

Gavotte. Allegro

Orgelkonzert in B op.4,Nr.6 HWV294

Andante allegro

Larghetto

Allegro moderato

G.F.ヘンデル

オルガン協奏曲 ヘ長調 作品4の4

アレグロ

アンダンテ

アダージョ

アレグロ

ヴァイオリンと通奏低音のためのソナタ イ長調
作品1の3

アンダンテ

アレグロ

アダージョ

アレグロ

トリオソナタ イ長調 作品5の1

アンダンテ

アレグロ

ラルゲット

アレグロ

ガボット. アレグロ

オルガン協奏曲 変口長調 作品4の6

アンダンテ・アレグロ

ラルゲット

アレグロ・モデラート



Carl Philipp Emanuel Bach (1714-1788)

III. Sonate in F Wq 70,3

Allegro

Largo

Allegretto

C.Ph.エマヌエル・バッハ

ソナタ 第3番 ヘ長調 作品70,3

アレグロ

ラルゴ

アレグレット

Johann Christian Bach (1735-1782)

Duett Nr.4 in B aus den sechs Duette
op.13,Nr.4

Andante

Allegro moderato

Andante assai

J.クリスティアン・バッハ

6つの二重奏曲より第4番 変口長調
作品13の4

アンダンテ

アレグロ・モデラート

アンダンテ・アッサイ

Wolfgang Amadeus Mozart (1756-1791)

W.A.モーツァルト

Drei Kirchensonaten

3つの教会ソナタ

Sonate in F KV244

ソナタ ヘ長調 作品 244

Sonate in D KV245

ソナタ ニ長調 作品 245

Sonate in C KV336

ソナタ ハ長調 作品 336



華麗なる音楽模様

ヨーロッパ 18 世紀の音楽の変換がみえる一つの流れは、バロック後期の音楽家達から巨匠 J.S.バッハの息子達へ、そして F.J.ハイドン、W.A.モーツァルトへとたどりつきます。

バロック時代の終わりに活躍した音楽家として、今夜は G.F.ヘンデルの作品を聴いていただきます。ドイツのハレで医者父と牧師娘である母の間に生まれたヘンデルは、幼少のころより音楽に興味を持ち、父に生活保障のない音楽家になる事を反対されながらも、その才能を発揮していきます。ドイツからイタリア、イギリスに渡り、多くの音楽に出会うことで自らを高め、人々との交流は彼の生き方に大きな影響を与えたでしょう。そして、当時自由な空気を持っていたイギリスに帰化し、力強く時代を生きぬいた音楽家です。彼の作品は、構築的、形式的ではなく、自身の感性を重んじ、抒情的な美しさと生氣にあふれた明るい音楽で、今も聴衆を魅了しています。

時は流れ、同時代に生きながらヘンデルとは対照的な生き方をした J.S.バッハを父とする息子達の時代に移り、次男である C.Ph.エマヌエル・バッハは、偉大な父から音楽教育を受け、鍵盤音楽の名手で、優れた教育者です。末子の J.クリスティアン・バッハは、15 歳で父を失ったため、兄のエマヌエルから教育を受け、その後イタリアからイギリスに渡り幅広く音楽活動を行い、ロンドンでは訪れたモーツァルト少年に会い、一緒に演奏し、作曲の手ほどきをする等、新しい時代を作り上げたモーツァルトに大きな影響を及ぼしています。

高田 富美

出演者

平井 誠／ヴァイオリン

京都市立芸術大学音楽学部卒業。在学中よりテレマン室内管弦楽団に参加。主要メンバーとして、国内外の演奏会に出演。1997年、20年間在籍したテレマンを離れ、在住の神戸を中心にコンサート活動、後進の指導にあたっている。古楽の分野では、1999年に始めたトリオ・フォンターナ、2001年からのコンソート・ムジカ・アウレアを通してバロック時代の多くの曲に取り組み、2004年には、ビーバー作曲のロザリオのソナタ集16曲を3回に分けて全曲を演奏。その他多くの古楽奏者と共演している。ヴァイオリンを古武滋野、ヘリー・ビンダー、ゲルハルト・ボッセ各氏に、バロックヴァイオリンをサイモン・スタンデーグ氏に師事。

稲富 友有子／ヴァイオリン

神戸市生まれ。京都市立芸術大学音楽学部卒業。1994年ドイツ(ケルン)に游学、1996年アメリカインディアナ大学サマーセッション、1997年紋別音楽祭に参加。和歌山室内管弦楽団員、熊楠の里音楽コンクール審査員。現在、関西においてソロ、室内楽、オーケストラ等で活動中。ヴァイオリンを島戸祐子、林靖子、四方恭子の各氏に師事。

田中 寿代／コントラバス

兵庫県立西宮高校音楽科、東京芸術大学卒業、同大学大学院修了。大学院在学中より日本テレマン協会のコントラバス奏者として参加、同楽団の低音奏者の重責を果たし、今年3月に退団。ソロリサイタル、ジョイントコンサート、コントラバスカルテット、オーケストラ、室内楽、古楽器演奏など多方面に活動を展開。コントラバスを永島義男、南出信一各氏に、室内楽をサイモン・スタンデーグ氏に師事。

高田 富美／オルガン

相愛女子大学音楽学部オルガン専攻卒業。その後、ドイツ・ヴェストファーレン州立教会音楽学校に留学。1993年以来、オルガンとその他の楽器・声楽による演奏会を「音楽の散歩道」シリーズで企画している。また、独奏、室内楽・合唱などとの共演等、演奏活動を続けている。奈良YMCA音楽院講師。日本オルガニスト協会、日本オルガン研究会会員。



「音楽の散歩道」は、

ドイツ、ハンブルク在住のオルガン製作者、クラウス・セバスティアン氏により 製作された、持ち運び可能な小さなパイプオルガンと共に、独奏、アンサンブルのコンサートを企画しています。

シンプルな空気のなかで、風の音で創られるオルガンの自然な響きと、私達の創り出す音楽を、多くの方々に聴いていただきたいと思います。

ホームページ <http://www.kcn.ne.jp/~sanpo/>

E-mail: sanpo@kcn.ne.jp